

# 『向島の豊かな自然と生きものたち』

## 第8回 向島の蛾！

蝶がきれいで美しいってみんな知ってるでしょう！

翅が色とりどりで花の蜜を一生懸命吸っているのを見ると、本当にキレイじゃろ～！

ところが、蛾はあんまりキレイじゃなくて、どっちかと言うとみんなに嫌われていたりするよのぉ～。それは、蛾の多くが昼に活動せず夜に部屋の灯りに飛んできたりして、なんかホコリみたいほもんをまき散らしながら飛び回ってたりするからじゃろーと思う。

蝶が、夜に灯りに飛んできたのを見た事がないから、みんな蝶はキレイで蛾はきたない虫と思ってるんじゃないかのぉ？

もし、蝶が夜の灯りに飛んできたりするとどうじゃろうか？

答えは、蛾と一緒にホコリみたいほもんのまき散らすどぉ～。

これは、翅に付いとる「鱗粉」っていう鱗がはがれ落ちるせいなんじゃのぉ。蝶も蛾も同じ「鱗翅目」の仲間じゃけえなんじゃ。

今回は、そんなちよいとみんなの嫌われもんみたいじゃけど、蝶々より種類が多い、向島でとれた蛾を集めてみました。

蝶々は昼に活動し、蛾はどうして夜なのか??? (昼に活動する蛾もある)

蛾の食べ物は何じゃろうか???と、想像しながら見てくださーい！

※「蝶も蛾もつくい」(青土社)の著者・田川研氏より、標本にコメントを頂きました  
「まさにこの通り、蝶も蛾も美しいということ、ユーモアたっぷりに、子どもからお年寄りにまでわかるような筆致で書いたケンさんの名著！  
日本中でたくさん読まれとるゆえ、みんなも読んでみよう！  
感想文の手紙を書いて送ったら、ケンさんは必ず返事をくれるよ!!」